

## 前学期の交換留学の体験

パリ・シテ大学  
ビアンカ・ソレント

7ヵ月後ようやく、お茶の水女子大学の交換留学生として日本に行くことができた。この学期は私にとって非常に充実した経験であり、日本語を上達させることができた。



私は3月末に来日したので、幸運にも桜の花を楽しむことができた。中目黒、千代田、新宿御苑など、東京の桜の名所を回った。学期中は、旅行もたくさんした。初めて東北に行ってきた。大好きなバンドのライブを見た青森や、有名な牛タンを食べた仙台にも行った。また、関西では奈良や京都のお寺に旅行した。東京の周りの県も尋ねた。鎌倉で海に行ったり、横浜で港を歩いたり、箱根で温泉を楽しんだりした。夏休みはまだ旅行の予定がたくさんある。8月に関西、9月に九州にまた行きたいと思う。

お茶大の授業については、少し複雑なこともあったが、日本語の授業だけ受けてよかったと思っている。また、日本人向けの授業を受けるのも初めてだった。しかし、先生によっては宿題を出しすぎてしまうこともあると思う。お茶の水女子大学の学生たちは、とても歓迎され、親切。特にジェンダーやフェミニズムについて、いろいろと自由に話し合えたことがとてもよかった。

また、学期中にはお茶の水女子大学のサマープログラムにボランティアとして参加した。私はレクリエーションチームの一員。日本で初めての職場体験。

私の交換留学は9月で終了する予定が、お茶の水女子大学の協力で、1学期延長してもらえることになった。この点については、国際課の大野さんをはじめ、お世話

になった先生方に大変感謝している。また、学期中お世話になった森山先生にも感謝している。

